

○事業所名	児童発達支援センター「ひまわり」			
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日 ～ 令和7年2月28日			
○保護者評価有効回答数	対象者数	128	回答者数	31
○従事者評価期間	令和6年9月1日 ～ 令和7年2月28日			
○従事者評価有効回答数	対象者数	18	回答者数	18
○訪問先施設評価実施期間	令和6年9月1日 ～ 令和7年2月28日			
○訪問先施設評価有効回答数	対象者数	128	回答者数	85
○事業者向け自己評価作成日	令和7年3月25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より、強化・充実を図ることが必要 だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取 組み等	さらに充実を図るための取り組み等
1	多職種で専門性の高い職員（保育士・心 理・作業療法士・言語聴覚士・理学療法士 等）が訪問を行うことで、専門的な支援を 行うことができます。	それぞれの職員が自己研鑽を行い、専門性の向上 に努めています。	職員の自己研鑽の機会の充実を図ってい きます。
2	児童発達支援事業と併用している児は、発 達状況が把握しやすく、具体的な支援方法 を伝えることができます。	小集団での日頃の状況を把握し、訪問先施設との 連携がしっかりとできるようにしています。	小集団での様子をもとに、集団の中ででき ることを提案できるようにしていきます。
3	医療機関や相談機関などと連携しながら支 援を行っています。	訪問に行ったときの様子や助言内容などを報告 し、医療機関と情報を共有するようにしていま す。	連絡・報告体制を整えて、より効果的に情 報のやり取りができるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる こと	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要 な点等
1	保育所等訪問支援の実施までに時間がか かってしまうことがありました。	児発管が管理しているものの、複数の職員が訪問 支援を行うために、それぞれのスケジュール調整 が難しいことが課題となると考えられます。	より長期的なスタンスで訪問日程の調整を 行い、保護者の希望をかなえつつ、訪問先 への負担感を減らしたいと考えています。
2	保護者、相手施設ともに、「もっとゆっく り話を聞いてほしい」というご意見があり ました。	保育所等訪問支援のスタッフが兼務であるため、 保護者や相手施設からの連絡に十分に対応できな いことがありました。	今後はオンラインなども有効活用し、相談 しやすい環境を整えていきます。
3	ホームページに掲載していることなどが、 「わからない」という回答が多くみられま した。	事業所単体ではなく、事業団のホームページに掲 載していることも多いため、気づかない方も多 い可能性があります。	掲載後にトピックをあげるなど、見やすい ところにお知らせを出す工夫をしていこう と考えています。

※ 今回保護者への周知について、モニタリング実施後にQRコードを配布して回答していただきました。回収率を改善するため
に、来年度はその場で回答していただくなどの工夫が必要であると考えています。